2018予算 本当にお金がないの？ 市民生活・子どもの命と安全にこそ予算を

弱者切りすて・大型開発推進をやめれば、市民生活・福祉は充実できる



観光費に5600万円 子どもの救急医療補助は1400万円

長時間過密労働でも子どもの救急を支えてきた医師４人のうち３人が退職に。しかし、それを支える公的補助はわずかです。一方、市長の号令で観光費5600万円、首都圏PR広告2000万円…力の入れ方が違いすぎます。いのちを守る市民福祉こそ優先すべきです。

2018年度一般会計は、市税だけで約10億円増加し、過去最大規模の554億円に。この財源を活かせば、市民の願い前進は可能です。しかし、ＴＸ沿線開発の木地区事業費不足26億円、開設されるおおたかの森ホール年間維持費や諸経費１億数千万円見込むなど逆立ちした税金の使い方が大きな支障となっています。

予算の比重を市民に移せば… こんなにできる

項目	必要経費
『妊娠・出産・育児のサポート体制』の倍加	2000万円
救急医療体制への補助（近隣市並みに引上げ）	8250万円
就学援助費に部活動費やＰＴＡ会費などを追加	2200万円
自治会等交付金（単価を引き上げ）	1100万円
非婚ひとり親家庭の保育料軽減	300万円

市議会 ねほり・はほり

●議員の期末手当引き上げに反対

今議会、議員の一般質問を10分間削減する案が決定（日本共産党のみ反対）。そして最終日、議員の期末手当を引き上げました。国・県の勧告を受け、一般職員の手当引き上げに便乗し、市長・議員が「俺も俺も」と…仕事を減らし、手当引き上げにビックリ㊙です。

●6つの意見書を提案、4つが可決

日本共産党は国、県に対する意見書を提案。児童虐待の防止にむけた「養護体制の強化を求める意見書」は全会一致で可決。「パーティー券など政治資金の透明性を高める意見書」は14対13の一票差で可決!!

森友・公文書改ざんで政治の公正さが問われる中、保守系議員も「賛成しないと市民に言い訳できない」とこぼしています。

身近な要求実現

危険なベンチを新しいベンチに（加2号公園）
いぬい紳一郎



道路標示がきれいに（国道6号南柏交差点）
徳増きよ子



おおたかの森小中併設校通学路に（市野谷地先）信号機設置
小田桐たかし



待望の手すり設置実現（運河水辺公園）
植田和子



会派	日本共産党				流政会									自由民主党					市民クラブ					公明党						
議員名 ○賛成　×反対　－棄権 ※議長は表決に参加しない。	乾 紳一郎	小田桐 仙	徳増記代子	植田 和子	森 亮二	青野 直	笠原 久恵	近藤 美保	坂巻 儀一	野田 宏規	大塚 洋一	石原 修治		根本 守	中村 彰男	海老原功一	中川 弘	加藤 啓子	藤井 俊行	西川 誠之	楠山 栄子	森田 洋一	西尾 段	秋間 高義	斉藤 真理	戸部 滋	野村 誠	菅野 浩考	阿部 治正	
平成30年度流山市一般会計予算（可決）	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×	
議員の期末手当引き上げの改正（可決）	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	－	○	×	×	○	○		○	○	○	○	×	
奨学金の抜本的拡充を求める意見書（否決）	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	○	×	○	○	○		×	×	×	×	○	
政治資金の透明性を高める努力を求める意見書（可決）	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×		×	×	×	×	×	○	○	○	○	○		×	×	×	○	○	

流山市議会第1回定例会のご報告　**日本共産党流山市議団**

市民との共同と提案で、市政を動かす!






いぬい紳一郎議員　小田桐たかし議員　徳増きよ子議員　植田　和子議員

流山民報

2018年　4・5月号　NO.195号

流山市加4-1688
TEL／FAX (7157) 6140
日本共産党　inui-jcp-toukatu@nifty.com
流山市議団　http://www.nagareyama-jcp.jp/
流山市議会事務局 TEL (7158) 1111

ご意見・ご要望をお寄せください

流山市議会の第１回定例会（２月15日～３月19日）がおこなわれました。日本共産党流山市議団は、市民との共同と提案で市政を動かす先頭に立って奮闘しました。



2校～3校分の児童詰め込み 少人数学級も後退

「新設校1校では足りない」と提案

教育実践に基づけば、最大48学級での学校運営や、少人数学級から国基準（１学級40人）に戻すなどはもってのほかです。

いま現場では、「水道の蛇口が足りず長蛇の列、給食前に手が洗えない」「昼休みに自由に外遊びができない」「学童クラブの人数が急増し、支援員が名前も顔も覚えられない」…。過大規模校における児童生徒への影響・課題に向き合い、より良い学校環境の整備が今、求められています。

子どものために、先生・保護者・地域のネットワークを広げましょう。

税等の徴収　生活困窮者へも過酷な取り立て

生活困窮者に対しては、今より生活を悪化させないよう対応すること、事業者に対しては、事業の存続を前提にするというのが、関係法令にもとづく国等の方針です。

ところが、滞納がある中小業者が、信頼できる人と一緒に市役所に相談に行ったところ、債権回収対策室は「当事者以外の同席は違法だ。警察を呼ぶぞ」と大声を上げる対応。また、生活保護利用者に対しては差し押さえを強行していました。

病気で仕事が出来なくなり、収入が激減した滞納者への違法性疑われる過酷な取り立ては断じて許せません。

母子保健の拡充を党市議団が要求 妊婦面談、産後ケアが前進

年間の母子手帳発行数が1900件を超え過去最高に。妊娠から出産・育児まで切れ目のない支援が、今ほど求められている時はありません。

党市議団は産後ケアや妊婦全員との面談などを提案。保健師が近隣市と比較して少ない実態を告発しました。

当局の努力もあり、昨年10月から産後ケアがスタート。妊婦面談件数も大きく増加し、保健師の増員が前進しました。

